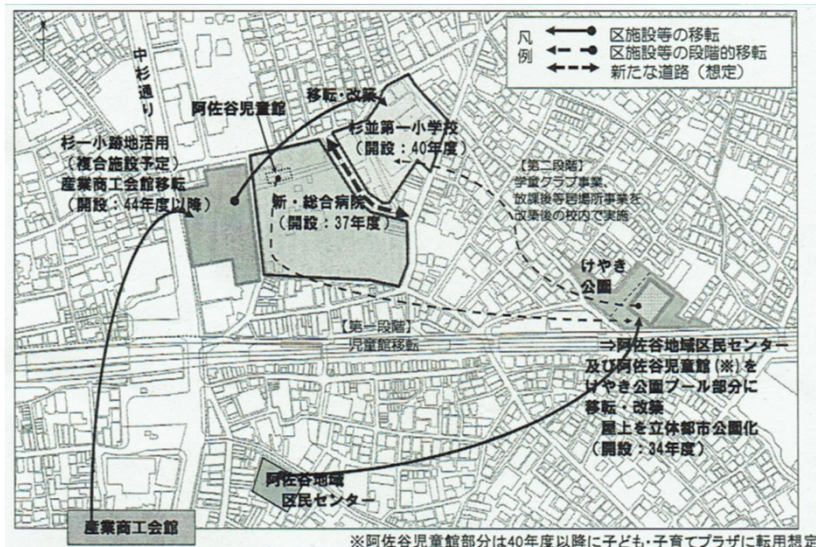


区政の話題: 杉並第一小学校等施設整備等方針

昨秋より検討が進められてきた「杉並第一小学校等施設整備等方針」が、5月18日(木)に示されました。

同方針により、

- **杉並第一小学校を近隣総合病院跡地へ移転**(病院は隣接民有地に移転し、杉並第一小学校跡地は移転後の産業商工会館を含めた複合施設を予定)
 - **阿佐谷地域区民センター及び阿佐谷児童館をけやき公園へ移転**(けやき公園は屋上を立体都市公園化)
- 等が今後進められることになります。



これら**全ての移転が完了するのは、今から15年後の平成44年度**となります。
また、小学校跡地に予定されている新たな複合施設の内容や、移転後の小学校の校舎配置等、今後の検討事項も数多く残されております。
非常に長期にわたる計画ですので、今後の推移をしっかり注視していきたいと思います。

所属委員会等変更

5月18日(木)の臨時議会において、所属委員会が変更となりました。
これまでの1年間は、区民生活委員会、文化芸術・スポーツに関する特別委員会に所属して活動してまいりましたが、今後1年間は、
常任委員会…**都市環境委員会**
特別委員会…**災害対策特別委員会**
に所属して活動してまいります。
なお、**都市環境委員会では、副委員長職を担うこととなりました。**
また、各種審議会では、杉並区環境清掃審議会委員となりました。



次回の定例区議会(平成29年第3回定例会)は、9月11日(月)開会予定です。

区政に関する意見交換会開催 (入場無料)

意見交換会の内容

□ 杉並区政についての自由な意見交換

区政の話題についていくつかご紹介したうえで、特にテーマを絞らず、現在及び今後の杉並区政について、皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ぜひご参加ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第55号(平成29年夏号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103

TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
平成27年5月より4期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(14歳)、長女(11歳)、次男(9歳)。

新・清掃工場、10月から本稼働

～ 10月からごみ収集開始時間等が変更 ～

平成24年度から行っていた、杉並清掃工場(高井戸東3-7-6)の建替工事が、本年9月に終了し、10月から新工場が本稼働を迎えます。

6月7日、都市環境委員会として新・杉並清掃工場を視察しました。

<視察の概要>

新・清掃工場に隣接する高井戸地域区民センターにて施設及び建設工事の概要説明を受けた後、新・清掃工場へ移動。

- ◆ 収集車によるごみの搬入～ごみバンカ(ごみを焼却するまでためておく場所)への投入方法
- ◆ ごみクレーン(ごみバンカにあるごみを焼却炉に投入する機械。右写真の真ん中。)の仕組み
- ◆ 焼却炉の仕組み
- ◆ 工場の安全対策・環境保全対策・緑化対策・近隣対応
- ◆ 地域貢献事業

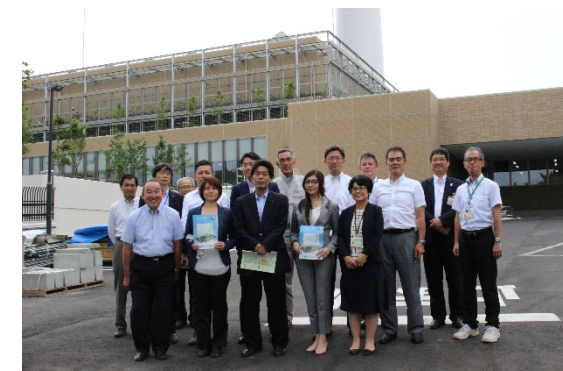
等について、現地を視察しながら説明を受けました。

<新・清掃工場本稼働に伴う区民の皆様への影響>

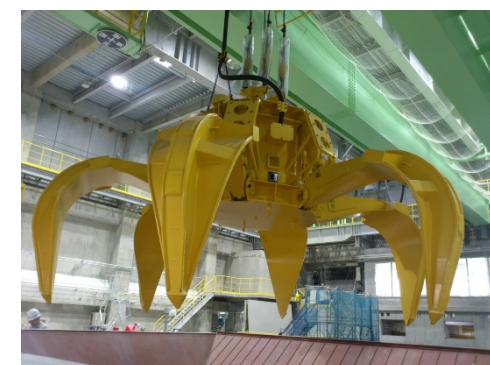
10月から、

- **可燃ごみ・不燃ごみの収集開始時間が午前8時に変更**(現在は午前7時30分)
- **一部地域において、不燃ごみ・資源(古紙・ペットボトル)の収集曜日変更**

* 詳細は、8月下旬から区が配布予定の「ごみ・資源の収集カレンダー」をご確認ください。



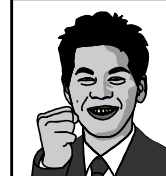
新・清掃工場(東側)



ごみクレーン



焼却炉内を視察



区民の皆様のご協力もあり、**杉並区における区民一人1日あたりのごみ量は474g(平成28年度速報値)と、23区で一番少なくなっております。**

清掃事業は全ての区民の皆様の日常生活に係る分野です。区民の皆様からのごみ行政に対するご相談は「ごみ集積所」に関することが多いですが、今後も資源循環型社会を進めていくために、清掃事業全般について、チェックしていきたいと思います。

調査活動

高齢者福祉

前号(区政報告第54号P. 4)にて「“地域包括ケア”に関するシンポジウム」に参加した旨を取り上げましたが、そこで講演を行った**民間企業が久我山地域で運営している「地域の高齢者相談窓口(*)」**を同僚議員と訪れ、お話を伺いました。

(*)住み慣れた自宅で安心して暮らし続けられるよう、「暮らしの相談受付」「専門業者への取次ぎ」「日常生活を支える簡易な手伝い」等を、サービスとして提供しています。

人員体制や契約実績、利用者の平均年齢、ニーズの高いサービス等を伺うとともに、

- 民間企業として「地域の高齢者相談窓口」を運営する中で、高齢者のニーズをどのように捉えているか
- 行政にはどのようなことをのぞんでいるか

等についてもお話を伺い、今後の高齢者福祉について意見交換をさせていただきました。

(注)個別の内容については民間企業の情報であるため、紙面では差し控えさせていただきます。ご了承ください。



今後の高齢者施策を考えた場合、

- ◆ 生活不安に対する身近な総合相談窓口の必要性
 - ◆ 「医療・介護」と「財産管理」を総合的に支援する必要性
- を改めて認識するとともに、

◆ 介護保険等公的サービスと民間サービスのミックスをいかに効果的・効率的に行うか

◆ 総合相談窓口を運営するうえでの課題(医療行為や専門士が担う業務との線引き)

についても考えさせられました。

すぐに答えが見つかる課題ではありませんが、更なる高齢化の進展を見据え、「最後まで地域で“生活者”として生きる」ことが出来る杉並区としていくために、営利団体・非営利団体を問わず様々な取り組みを行っている方達と、今後も直接顔が見える関係の中で、より良い施策を模索していきたいと思います。



行政改革



5月26日(金)、第21回自治体総合フェア2017(於:東京ビッグサイト)において行われた講演「AI(人工知能)で始まる半歩先の行政サービス」を聴講しました。

- AIがもたらす価値は「自動化と高度化」であり、「生産性と利用者サービスの向上」が図られること
- 業務によって、アプローチ方法が異なること

- まずは「データ分析」や「道路の維持管理等現場業務」での導入が有用であること等の指摘がなされました。



3月に行われた予算委員会でもとりあげましたが(区政報告第54号P. 2)、「AIを含めた技術革新を行政経営にいかに活用するか」は、今後の行政改革を検討するうえで必須だと考えております。

日進月歩の分野ですが、

- ◆ 新たな技術をいかに既存の業務に適用するか
- ◆ 新たな技術で新しい行政サービスを提供できないか

ということ、常に考えていきたいと思っています。

予防医療



5月22日(月)、ワクチン(予防接種)に関する専門家の方から、輸入感染症のリスクに関する話をお聞きました。



観光立国に向けた様々な施策の効果もあり、2016年の訪日外国人数は前年比21.8%増の2,403万人となりました。

多くの方に日本を訪れていただくことは非常に嬉しいことですが、一方で、海外からの感染源等の持ち込みリスクが高まることには留意する必要があります。予防医療・公衆衛生・危機管理等様々な視点から、海外との交流人口拡大に伴うリスク対応についても、自治体としての役割を考えていきたいと思っています。

地域での活動

子育て／教育

今年度(平成29年度)から、**近隣の小学校において、「放課後子ども教室(*1)」を立ち上げ**ました。

(*1)放課後に区立小学校を使って実施する、地域の子供達を対象とした、様々な体験や交流活動等を行う事業。

実行委員会が学校長と調整のうえ活動計画をたて、教育委員会と共催で実施。平成28年度現在、杉並区立小学校41校中、15校で実施。



<目的>

- 放課後に小学生(及び地域の子供達)がのびのびと遊んだり、好きなことを学べる、安全な場所の確保
- 学童クラブ(*2)への入会有無に関わらず、学年・クラスを超えて交流し、一緒に遊べる機会の確保

(*2)保護者の就労等により、昼間留守になる家庭の子供を対象にした下校後の生活の場

<基本方針>

- 放課後の学校施設(校庭・視聴覚室・体育館等)を週1~2回子供達が遊んだり、学んだりできる居場所とする
- 参加費は無料(年間保険料800円は実費負担)



校庭での自由遊びを基本に、1学期は将棋・バレーボール・ヨガの教室を定期的に実施しています。今後は、1回完結のプログラム等も充実させていく予定であります。

活動に当たっては、**将棋・ヨガ等プログラムの指導や、校庭等での見守りに、地域の方々やPTA有志がスタッフとして参加・協力**してくださっています。

地域の大人のひとりとして、子育て／教育について出来ることに取組んでいくとともに、**学校を舞台とした世代間交流の拡充や、地域ぐるみで子供達を見守り、育てる環境をつくっていき**たいと思っています。そして、現場で得た学びを区政全体にも活かしていきたいと思っています。



子育て世代の地域参加



6月3日(土)・4日(日)、第22回久我山ホタル祭りが開催されました。今回も、子供の幼稚園在園時に「チームパパ(おやじの会)」として一緒に活動していたメンバーに新しい現役保護者を加え、**子育て中の父親総勢30名以上**で出店。

既に活動4年目となりましたので、事前準備も含めて段取りはスムーズだったように思います。

また、テント等会場全体の事前設営や事後の撤収においては、平日の夜ににもかかわらず、それぞれ10名以上のメンバーが仕事の後にかけてくれました。当日も、自分達のお店のことだけでなく、会場における来場者向けの机・椅子の設営・撤去・清掃や、ごみ袋の入れ替え等、「祭り全体」に目配りして活動いただきました。



子育て世代の父親が、“地域”と関わる機会は少ないのが現状です。

しかし、**適切な“機会”と“縁”さえあれば、「子供達のために」「地域のために」という想いで力を発揮してくれる人達は、たくさんおられます。**

こうした人達と地域をつなぐ場づくりに、これからも積極的に関わっていききたいと思っています。

